

■ 摂津市の良い点と課題 ～第1回摂津市まちづくり市民会議（まとめ）～

| | | 良い点 | 課題 | まちづくりの方向性 |
|---------|----------|--|--|---|
| 全般的事項 | | <ul style="list-style-type: none"> “摂津”という言葉の響きがよい。 北摂地域の一員であることがよい。 摂津には、小さいけれど磨きのかかっていない名所がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 大阪市や茨木市、高槻市と比べると若干取り残されている。 まちのイメージが暗い。 “摂津市”は知られているようで知られていない。 “摂津市”といっても場所が通じない。 摂津市に名所がない。 | <ul style="list-style-type: none"> “摂津市カラー”を決めて、まちに色をつけてはどうか。 “鉄道特区”のようなまちにしてはどうか。 若い世代が住みたいと思えるまちづくりが必要ではないか。 高齢になっても「住んでよかった」と思えるまちにしたい。 |
| くらし部会関連 | 全般 | | | <ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者が安心して暮らせるまちにしたい。 おひとりさまになったときに安心して暮らせるまち。 |
| | 健康 | | <ul style="list-style-type: none"> 鳥飼上地区は通院が不便である。 総合的な病院が少ない。歯科医院は多いが地域に偏在している。 | |
| | 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の介護予防の活動に関わっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み、買い物に行けない人が増えている。 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が買い物をしやすい環境づくりが必要。 障害者など弱い立場の人にやさしいまちづくり考えたい。 『孤独死ゼロの、人生最後を摂津市で』。 |
| | 子育て | <ul style="list-style-type: none"> 大阪の都心部から少し離れているので子育てにはよい。 | | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが元気に暮らせるまち。 |
| | 教育 | <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の規模が小さいのできめ細かな教育ができる。 子どもたちの登校の見守りをしている。 | | |
| | 文化 | <ul style="list-style-type: none"> 第6集会所は貴重な建造物（芝居小屋）である。 摂津音楽祭（リトルカメラコンクール）を全国発信しては。 | <ul style="list-style-type: none"> 歴史や文化を大切にしていないのではないか。 府下でも貴重な出土品などがきちんと展示されていない。 歴史を次の世代伝えるようにしていく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 史跡や文化を大切に摂津の特徴を全国発信したい。 歴史資料館の整備が必要である。 |
| まち部会関連 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> 街がこじんまりとしており、コンパクトで暮らしやすい。 | | |
| | 都市 | <ul style="list-style-type: none"> “新幹線公園”の美化活動や桜の植樹に取り組んでいる。 高速道路や新幹線、空港などへの交通アクセスがよい。 神戸や大阪に通勤しやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> 鉄道（JR、阪急など）や河川でまちが区切られている。 正雀駅周辺は道が狭く、汚いビルが多い。 まちが薄暗い。 道路や歩道が整備されていない。ガード下の通路が狭い。 歩行者や自転車の交通マナーが悪い。 別府斎場の見直しが必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 楽しく散歩ができるまちにしたい。 |
| | 環境 | <ul style="list-style-type: none"> CO₂排出ゼロの駅（阪急摂津市駅）が整備される。 | <ul style="list-style-type: none"> 河川が汚れている。 | <ul style="list-style-type: none"> 次世代につなげていける環境に配慮したまちづくり。 |
| | 産業 | | <ul style="list-style-type: none"> 鳥飼上地区は買い物が不便である。 | <ul style="list-style-type: none"> 交通利便性がよいので集客や賑わいづくりに取り組めないか。 |
| | まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 人口規模が8万人のためコミュニケーションがとりやすい。 市民がちょっと力を出せば何とかなるまちの規模ではないか。 人口も広さも適度で“顔が見える”。 | <ul style="list-style-type: none"> 正雀地区は高齢者や学生・単身者が多く、自治会活動が活発でない。 摂津市の行事やイベントの情報が共有されていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 顔と名前が一致するコミュニティづくり（面識社会）が大事。 自分の住んでいる地域を愛することがとても大事である。 いろんな活動をしている人がつながっていくとよい。 地域の歴史や由来がわかるとまちへの愛着が出てくるのでは。 |
| | 行政経営 | | | <ul style="list-style-type: none"> パートナーシップや協働で様々な問題を解決していく。 |
| その他 | 市民会議の進め方 | | | <ul style="list-style-type: none"> 市民の暮らしに視点をおいたまちづくりを考えていきたい。 机上の議論ではなく、実際のまちをみて提案を考えたい。 理想と現実の間を見つけられるような話し合いをしたい。 「摂津市をどういうまちにしたいのか」という10年後にありたい姿やコンセプトをしっかりと共有することが重要である。 |